

○九州地方の地震活動

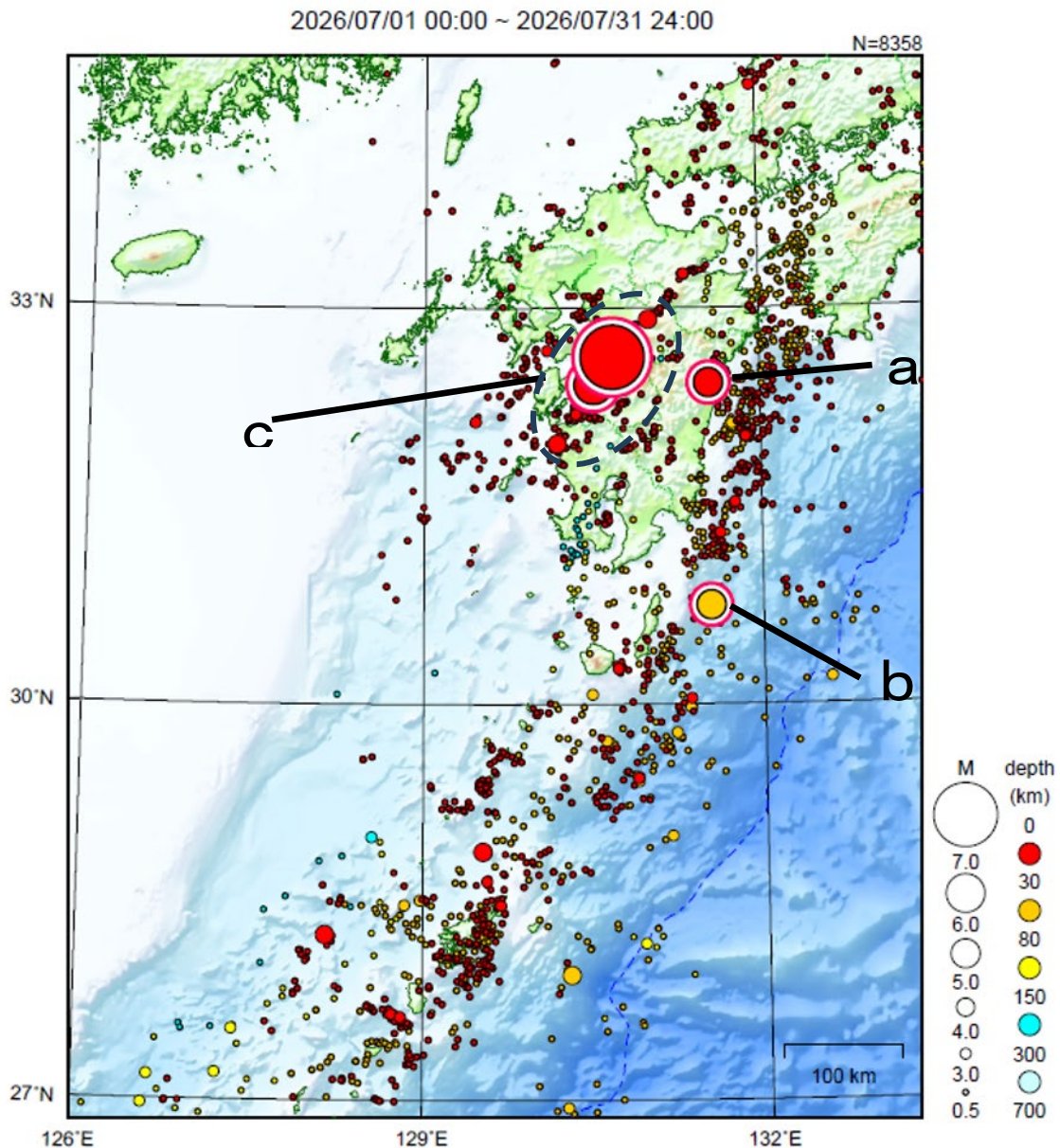


図 9 九州地方の震央分布図（2026 年 7 月 1 日～7 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

7 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 468 回^{（注 1）}（6 月は 22 回）であった。7 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 1 日 08 時 40 分に宮崎県北部平野部の深さ 14km で M5.1 の地震が発生し、宮崎県で震度 4 を観測したほか、九州地方、中国地方及び四国地方で震度 3～1 を観測した（p. 4、15 参照）。
- b 17 日 06 時 49 分に大隅半島東方沖で M5.2 の地震が発生し、宮崎県日南市及び鹿児島県肝付町で震度 3 を観測したほか、宮崎県及び鹿児島県で震度 2～1 を観測した（p. 16 参照）。
- c 28 日 16 時 27 分に熊本県熊本地方の深さ 16km で M7.1 の地震が発生し、熊本県宇城市及び氷川町で震度 7 を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度 6 強～1 を観測した。また、この地震により熊本県熊本で長周期地震動階級 4 を観測したほか、九州地方から近畿地方にかけて長周期地震動階級 3～1 を観測した。この地震の震央周辺では、7 月 28 日以降 8 月 2 日 08 時までに震度 1 以上を観測した地震が 622 回（震度 7：1 回、震度 5 弱：5 回、震度 4：22 回、震度

3：61 回、震度 2：155 回、震度 1：378 回）

（注）発生した。

これらの地震により、死者 39 人などの被害が生じた（2026 年 8 月 9 日 10 時 00 分現在、総務省消防庁による）。気象庁では、2026 年 7 月 28 日の M7.1 の地震及びそれ以降の一連の地震活動について、その名称を「令和 8 年熊本地震」と定めた（p. 57～95 参照）。

（注）掲載している地震回数は、後日の調査でさらに変更になることがある。